

2007.5



編集発行：(財)神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1(サンバル10階)

●東部センター／857-3601 ●西区センター／993-0066

●中部センター／521-8000 ●北区センター／596-3181

●西部センター／621-6880 ●本部／252-0316

ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

今年度のおもな行事予定

行 事	実施時期など
安全就業強化月間	7月1日から31日までの1ヶ月間
家事援助・介助・介護サービス基礎研修会	9月～11月に開催予定。詳細は7月号、9月号でお知らせします。
いきいきシルバーのつどい	9月上旬に実施予定。詳細は7月号でお知らせします。
シルバー普及啓発促進月間・会員増強月間	10月1日から31日までの1ヶ月間
健康増進研修会	10月に開催予定。詳細は7月号でお知らせします。
福祉・家事援助サービス技能研修会(調理・洗濯など)	11月に開催予定。詳細は9月号でお知らせします。
子育て支援基礎研修会	2月に開催予定。詳細は1月号でお知らせします。

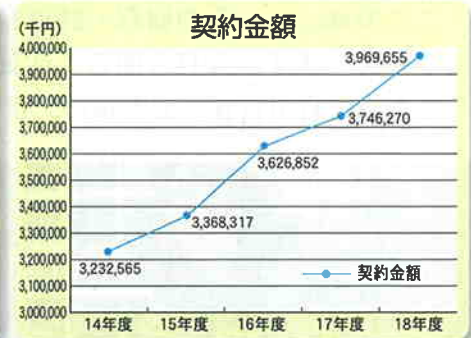
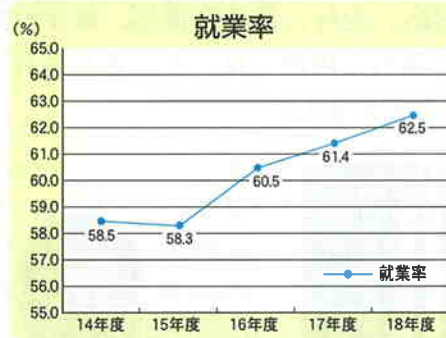
平成18年度の事業業績が確定しました…着実に伸びています!!

当センターは、高年齢者への就業機会の提供と生きがいづくりを目的に、昭和57年2月の設立以来、震災の影響を受け停滞した時期を除けば、着実に会員数・事業実績を伸ばしています。

平成18年度の実績は、会員数が10,531人(前年度10,357人)、契約金額が39億6,965万円(前年度37億4,627万円)といずれも過去最高となりました。また、就業延人員が79万0,379人(前年度73万8,843人)、就業実人員は6,581人(前年度6,357人)、就業率62.5%(前年度61.4%)となり、いずれも前年度より増加しています。

これは会員一人ひとりの誠実で意欲的な就業への取組みが、発注者に高く評価され、センター事業全体の評価・信頼につながった成果だと思えます。

事務局としても積極的に就業開拓・PRに努めますので、今後とも発注者の満足度を高める就業に取り組んでいただくようお願いいたします。



配分金支払日のお知らせ

4月分 5月18日(金)	5月分 6月15日(金)	6月分 7月17日(火)	7月分 8月15日(水)	8月分 9月18日(火)
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------



そのカート かるやかですか！



株式会社 ダイエー名谷店



今晚のお惣菜を考えながら、手はすでに無意識にショッピングカートへ…。しかし、この時、カートがスムーズに動かなかったり、変な動きクセがあったりしたらどうでしょう。

ここ地下鉄名谷駅北側、ダイエー名谷店にある約350台のカートは、すべてが実に軽やかなのです。このカートの補修をしているのが「やまうち修理工場」を担当している山内忠徳会員です。

超ご多忙の中、山本幸治副支配人にお会いさせていただきました。

開口一番、「シルバーといいますと、どうしても体力的な面が気になりますが、会員さんの仕事振りを見ていますと、全く杞憂に過ぎないことが解りました。真夏でもお元気そのもの、かげひなたなく、一生懸命働かれ、若い者に負けていませんよ。それに、嬉しいことがありますね、これみてくださいよ！」と言って出されたのが、「いつも買い物をしている時にカートの動きがおかしくなったりしていましたが、このごろは動きがスムーズですね。買い物していても気が楽です。カートに振り回されずに済みます。」と言うお客様の声の一文です。

「山内さんが来られて一週間程なんですよ！私達はどうしても商品のことや、売り上げのことに目が行きがちですが、大切なことに気付かされましたね。」と、にこやかにお話されました。お褒めのお言葉をいただき嬉しいことです。

カートの車軸にはどうしても糸屑や髪の毛、テープ等が絡みつきますが、それを丁寧に取り除き、時には分解して注油したりします。

山内さんは、「表彰されたり、修理のプロだという看板まで作っていただいて、照れるやら、嬉しいやら、やりがいを感じましたね。それに従業員の皆様は親切ですよ。」と本当に仕事を楽しそうでした。

ここでは、カートの回収、駐車券対応、受付、電話交換等、種々の業務に計10名の会員がお世話になっています。今日も明るく活気に満ちた店内では、どっさりお買い物を積んだカートが、あちらこちらで自由自在にお客様のお供をしていました。



作業中の山内さん



山本副支配人(右)と

人生遊歩

シルバーを楽しく

命に過ぎたる宝なし

西区 福田 節夫さん

福田さんは、現役時代に歯科技工士として長く活躍した後に、シルバー人材センターに入会され10年になります。現在、除草班・マンションの管理・兵庫県や神戸市の広報紙の配布などの仕事をこなす84歳ですが、意気軒昂ますますお元気に頑張っておられます。

仕事はもちろんですが、その合間には、人生の友として始めた趣味の愛用カメラを片手に被写体を求めて、野に山に海に旅しているとのこと。納得できるシャッターチャンス・構図を捕らえるために、一時間も二時間も我慢して待つこともあるそうです。

もちろん腕も確かで、自信のある作品を写真展に応募して数点が入選しています。中には、朝ふらっとカメラを持って町内を散歩していた時に、ふと黄色のハイビスカスに虫が留まっているのに出くわし、ここぞとばかりシャッターを切った作品が入賞したこともあるそうです。このように身の回りにある題材に常に気を配り、今後もいい写真を撮り続けていきたいと意欲満々の福田さんです。

現在は、このように仕事や趣味に悠々自適・マイペースの生活を送っていますが、これまでの人生は波乱万丈だったそうです。特に若き日の死線をさまよう三度の経験が特筆に値します。

『一度目は、昭和9年、小学校6年の時、史上最大の室戸台風で校舎が崩壊し、命からがら逃げた

ことです。二度目は、昭和12年、16歳で志願兵として当時の満州(黒河・哈尔滨・長春)に渡り中国大陸を転戦中、外蒙古付近で腸チフスに罹り、毎日数十人の戦友が次々と死んでいくなか、「死んでたまるか」という気持ちで無事生還できたこと。三度目は、昭和17年の夏、輸送部隊として南下中、河南省鄭州の近くで敵襲を受け、凄まじい戦闘で敗残兵となりましたが、生き残った数人と逃亡を続けました。そして、生き延びるためには現地の言葉をしゃべれるようにならないといけないと考えて、親切な中国人に助けられ数ヶ月間洞窟の中で中国語を勉強



作品「84歳」(全国連合保険組合写真展入賞)

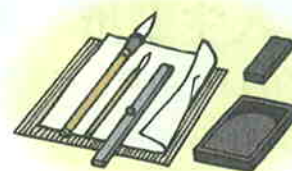
して、何とか通じるようになり、名前も中国名(堤 瀛章)を名乗りました。その甲斐あって中国鉄道施設隊の一員として、万里の長城を山海関からゴビ砂漠を通り甘肅省敦煌近くの成都まで徒歩で走破した事や、天津から西安を通り柳洲に行き鉄道学校を建設したことなど中国人として10余年、何度も危機を乗り越えることが出来たことです』と淡々と話してくれました。

『ある夜から毎日夢枕に母が立つようになり、日本人として母の待つ故郷に帰らなければならぬと、昭和32年、20年振りに日本の土を踏むことが出来たことなど、今思えばこの平和な日本で過ごせるのは、諺でいう「命に過ぎたる宝なし」そのものではないかと感慨深げに語ってくれました。



作品「ハイビスカス」(神戸市民美術展努力賞)

筆耕会員が中学校の卒業証書授与式に招待されました！



本山中学校校門前にて

「筆耕班」は、毛筆で宛名書きや賞状書きなどの仕事をする職群班で、現在18人の班員が活躍しています。この仕事には、字を書くことが好きで得意ということだけでなく、発注者に満足していただける一定レベル以上の技能が必要とされます。また、賞状などのように受け取る人の感情や気持ちに配慮した、丁寧な心のこもった仕上がりが求められますので、大変神経を使う仕事でもあります。

3月13日、班員の井口量子さんが、神戸市立本山中学校の第60回卒業証書授与式に来賓として出席しました。何故かと言いますと、井口さんが、卒業生196人の卒業証書を毛筆で書く仕事をし、その仕事ぶりが学校に評価していただいたからです。また、井口さんが心を込めて書いた卒業証書がどのような生徒達に授与されるのか、是非見てもらおうということで招待していただいたのだと思います。

井口さんは、卒業式に参加して「大変緊張しました。でも、あの名前、書きにくかった字の名前、好きな字の名前の生徒は、こんな表情や仕草の人物だったのかと感じ、感慨深く、またうれしい気持ちにもなりました。これからの仕事の励みや生きがいにもなります」と話していました。また、「仕事は、気持ちをこめて、筆勢を止めないようにすることを心掛けています。だから午後11時から午前3時頃の間集中して書きます。書き終わると疲労感もありますが、それは快いもので、熟睡でき、私にとっては健康維持に役立っています。」と話していました。

井口さんは、現在74歳、入会前はホテルに勤務し、案内看板などの字を書く経験をしてきました。自分流の毛筆楷書を書くのが得意だそうです。そこで、入会以来12年間、この経験を生かし筆耕の仕事をしてきました。その間、幼稚園・小中学校の卒業証書、神戸市の花時計賞、会社の挨拶状、年賀状、結婚式の招待状、来賓のリボンなどの筆耕をしてきました。今後も、シルバーの顔として活躍してほしいものです。

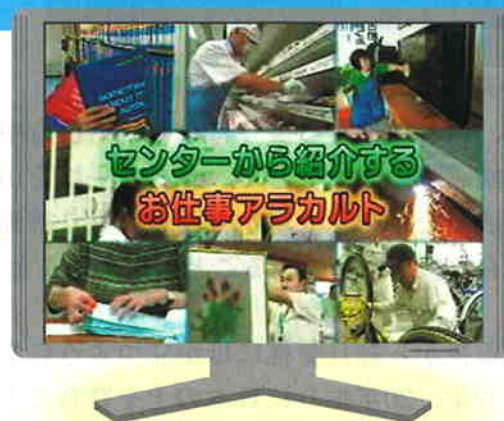
この例のように、会員の皆さんの誠実な仕事ぶりが、発注者から評価を得て満足していただけることは、会員全体の評価アップにつながることは間違いありません。そして就業機会の増加につながっていくと思います。

広報ビデオを制作しました!!

このたび、会員の皆さんや発注者の協力を得て、センターが紹介できる職種をより多く盛り込んだ広報ビデオを制作しました。

就業現場での撮影時には会員の皆さんにご協力をいただき大変ありがとうございました。入会希望者説明会などに活用し、さらなるセンターのPRに努めていきます。

なお、この広報ビデオは神戸市シルバー人材センターのホームページで見ることができます。



<http://www.kobe-sjc.or.jp>

会員提言 「元気で楽しく働くために」

私の生きがい

村上 哲さん 男(79歳)東部センター

「生涯現役」の四字熟語はごく最近になって言われただと思いますが、私はこの言葉が大好きで、これを生きがいとしております。

仕事をしている時に顔を合わす人達からよく年齢を聞かれるのですが、ほとんどの人が「ほー」という顔をします。これも健康なればこそ、胸張っていい気分になれますよ。

私の健康法は別に改まったものではなく、快食・快眠・快便を心掛け、食事は野菜を多く摂り、暴飲暴食せず、事故予防のためにも最良の体調で仕事に取り組むことを心掛けています。

また、認知症の予防のため、数十年来日記をつけています。現在のものは平成12年から使用を始めた3年日記ですが、余白を利用して今も継続して使用しています。毎日記入する際、過去7年間の同じ日に書いた事を読み返し、一つでも思い出そう努めています。

さらに、趣味として囲碁に親しんでおりますが、毎日対局しなくても棋譜をみて石を並べ研究するようにしています。

仕事中の怪我を防ぐための工夫

高橋 常治さん 男(67歳)北区センター

私が一番注意していることは、仕事中に腰を痛めたり、足首の捻挫をしないようにすることです。会社勤めをしていた頃に、不用意に物を持ち上げて腰痛になり、仕事だけでなく日常生活でも大変つらい思いをした経験があります。また、町をぼんやりと歩いていた時、足をすべらせ捻挫をしかけたこともあります。いずれも体調の悪い時や油断していた時、また咄嗟に体を動かした時に発生しています。

この反省に立って二つのことを心掛けています。一つは、毎日体操をする時に屈伸運動を20回すること。これを始めてからは、物を持ち上げたりする時、無意識に膝を折り腰を入れるようになりました。この動作を無意識にできるようになったことが大きいと思います。もう一つは、足首の強化です。そのためには歩くこと、それも坂道や山道をよく歩くことです。私にとっては、毎日生活している坂の多い鈴蘭台が、足腰の強化トレーニングの場であると言えます。

脳年齢を現状維持するために

青木 茂子さん 女(64歳)中部センター

何気ない会話の中で、「あれ」、「それ」、「あの人の名前はなんだったか」。頭の中に顔は浮かぶけれどさっと名前が出てこないもどかしさ。認知症の症状ではないかと恐怖心を持つ私が最近やり始めたことがあります。毎朝配達される新聞の社説欄の論説を、大きく口を開け、はっきりと自分なりに美しい声で読むことを日課にしています。時には文章を書き写しますが、理解できないカタカナ語や読めない漢字がある時は辞典で調べるようにしています。

また、孫を相手に将棋・オセロ・トランプ等々のゲーム遊びをします。私が勝つときもありますが「トランプの神経衰弱」だけはくやしいけれども勝ったことはありません。

日常生活の中で、自分に合ったことを、無理をせず、頑張り過ぎず、投げ出したりせず、再チャレンジする気持ちで気長にできたらいいあと考えています。大切なことは、ただ単に長生きするのではなく、健康で好きなことができる期間がどのくらいあるかということです。そのために少しでも脳年齢の進行を遅らせたいと日頃思っています。

**センター
だ・より**

北区センター

**日本最古の歴史を持つ有馬温泉で
120名の会員が活躍しています!!**

北区にある有馬温泉は、会員の皆さんご承知のとおり、日本三大名湯の一つとして全国に知られています。遥か神代の時代に、大己貴命と小彦名命が有馬の里に湯煙を発見したのが始まりと伝えられ、日本書紀にも舒明天皇が入浴を楽しんだと記されています。また、豊臣秀吉が戦いで疲れた心身を癒そうと訪れ、茶会も催した由緒と歴史ある温泉です。

この金の湯、銀の湯で有名な有馬温泉の旅館・ホテルの円滑な管理運営のために、縁の下の力持ちの役割を果たしているのがシルバーの会員です。神戸市にあるシルバー人材センターにふさわしく、現在、120人（男性65人、女性55人）という多くの会員が、経営者（発注者）はもちろん宿泊客の満足度を高めるべく、様々なサービス業務に元気に取り組んでいます。

その職種・作業内容は、



駐車場



調理場

職 種	作 業 内 容	職 種	作 業 内 容
設備保守点検	ボイラー管理、空調管理他	屋外雑役作業	水やり、除草、外苑管理
守 衛	従業員・業者入管チェック	屋内雑役作業	宴会場の準備・片付け、 営繕係、浴場内の浴槽洗い・ リネン係・接客、 布団敷き・上げ、玄関係
宿 直	ナイトフロント、館内管理		
駐 車 場 管 理	ゲート係、場内誘導係	調理・食品 関 係 作 業	盛付け、食器回収・洗い・整理
屋外清掃作業	外苑清掃		
屋内清掃作業	客室・廊下・トイレ清掃		

など多種多様な分野になっています。

発注者の就業会員に対する評価は非常に高いです。「責任感が強い」「作業に対する取り組みが良い」「人生経験豊富である」「階段の昇り降りが多いのに、元気だ」などのお褒めの言葉を頂いています。また、「今後、もっともっとシルバーの皆さんを登用したい、さらなる活躍を期待します」と勇気つけられ、神戸観光の顔としての有馬温泉を支えるシルバーの役割の大切さをますます再認識しました。

様々な事情があると思いますが、これまで残念ながら就業の機会に恵まれなかつた会員の皆さん、希望した職種とは異なるかもしれませんが「有馬で就業しても良いかも」と思われる方は、北区センターまで是非ご連絡下さい。

会員の皆さん！ 新規入会者の勧誘にご協力をお願いします!!

- ★お近くの友人・知人等に入会勧誘をお願いします。女性の方も歓迎します。
- ★いろいろな技術・知識・特技を持った人、地域の便利屋さん、一芸に秀でた人、世話好きの人など、シルバー人材センターの会員にふさわしい資質のある人への入会勧誘をお願いします。
- ★そして、特色ある多様な人材（マンパワー）を増やし、受注量の拡大を目指しましょう。